



佛教学部 佛教学科

国際教養コース

FACULTY OF BUDDHIST STUDIES
DEPARTMENT OF BUDDHIST STUDIES
INTERNATIONAL LIBERAL STUDIES COURSE

学びの分野

日本文化 英語コミュニケーション 情報発信

こんなキミに学んでほしい

日本の伝統文化や仏教に興味を持ち、
深く学びたいと考える人
日本の伝統文化や仏教の魅力を、広く世界に伝えたい人
日本人としての教養を身につけ、
それを生かして国際的に活躍する意欲がある人
国際的な課題に対して問題意識を持ち、
自ら関わっていきたいと考えている人

ワンポイントアドバイス

英語に苦手意識があつても構いません。
苦手なら、なおさら来てほしいくらいです。
少人数クラスのもと、無理のないペースで
段階的にスキルアップでき、
英語学習が楽しくなるからです。

このコースがめざすこと

日本文化を世界につなぐ架け橋に

日本の伝統文化や“おもてなし”的精神の根底には仏教精神があり、近年は「日本×仏教」に関心を持つ人々が世界的に増加。仏教の教え自体もグローバルに広まっています。そこで国際教養コースがめざすのは、仏教や日本文化に関する知識を強みにして、国際社会で活躍でき

3つのポイント

ネイティブ講師による指導で
実践的な英語スキルを磨く

ネイティブ講師による少人数授業に力を入れており、実践的な英語力の向上をめざします。定期的にTOEICを受験するため、スキルアップを実感できます。

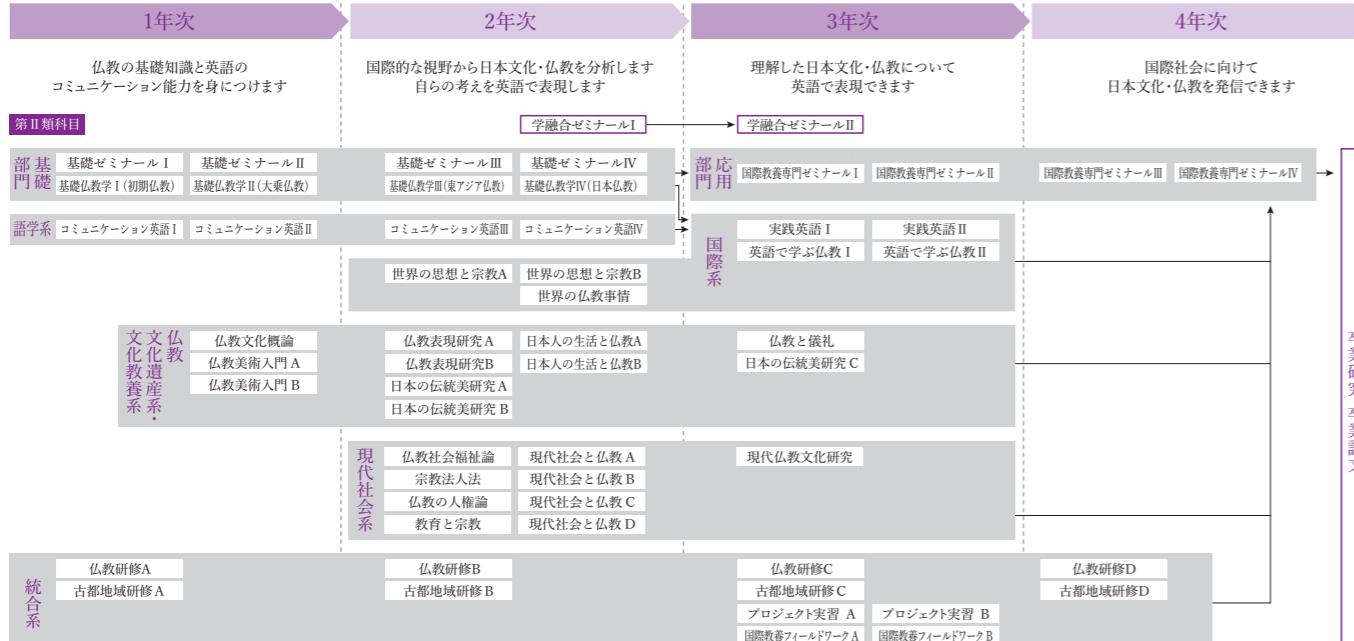
学生が主体となって
日本文化を発信

4年間での目標は、英語を使って仏教や日本文化の魅力を発信する力を伸ばすこと。学生中心でプロジェクトを進め、学内ギャラリーでの展覧会を企画・開催することもあります。

実際に見て学ぶからこそ
伝えられることがある

京都や奈良を訪れ、能楽や彫刻といった日本文化を肌で感じるフィールドワークを実施。自ら体感するからこそ、英語での情報発信に説得力と深みが生まれます。

カリキュラム



国際教養コースの“学びのフィールド”



実践英語

日本の伝統文化を世界に発信するために必要なプロモーションスキルの習得をめざします。ビジネスシーンだけではなく、さまざまなシチュエーション、メディアなどで使用される英語を学び、異文化の人々と働いたり、コミュニケーションするための能力を身につけます。



峰岸 舞
佛教学科
国際教養コース 4年
千葉県
千葉経済大学附属高等学校 出身

私の理論×実践 英語力と伝統文化が、将来の進路を開いてくれる。

日本の伝統文化と実用的な英語。両方を学べるのがこのコースの魅力です。卒業後、どんな分野に進んでも、英語のスキルは持っていて「当然」。そして、さまざまな国の人と関わるならば、自国の文化を理解していることが不可欠となります。大学に入学してから、英語力についてはかなり鍛えられました。また、茶道との出会いが、私の進路を開いてくれました。茶道が大切にするひとつひとつの作法は、長い年月の中で築き上げられてきたもの。自分の身体に伝統が染み込んでいく感じがします。こういった感覚は、文化の異なる人々にも共感してもらえるはず。目標は、世界中の人に語り合うこと。その中で茶道の魅力も伝えられたら、と思っています。

TOPIC

華道や茶道など、日本の伝統文化を実体験

フィールドワークでは、日本の伝統文化を見て学ぶだけではなく、実際に茶道や華道に挑戦する機会も設けています。畳に座り、独特な所作や振る舞いに戸惑いつつも、まるでタイムスリップしたような感覚を味わいながら、日本人が大切にしてきた感性の一端を感じ取ることのできる貴重な経験になります。経験することで初めて語れることも多く、外国人とのコミュニケーションにも大いに生かされます。



卒業論文一例

- 日本における英語教育の歴史的展開とグローバル化への対応
- 華道とフラワーアレンジメント
- 日本の英語教育の在り方
- 日本人の自然観と美意識
- 日本の野球文化についての一考察—武士道精神の視点から

シラバス



<https://www.tais.ac.jp/faculty/syllabus/>

教員情報



<https://www.tais.ac.jp/chinaberry/>

教員紹介

